

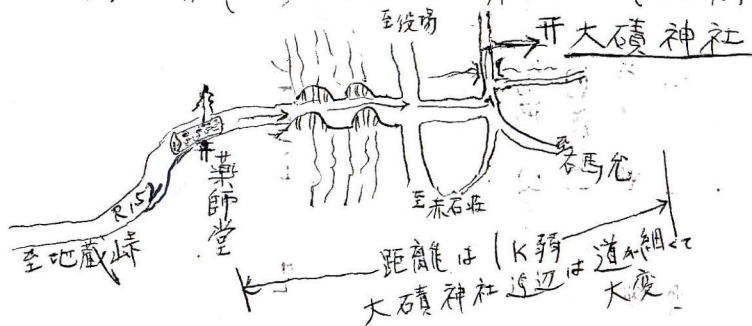
2022 (R4)



右馬元だま

雨がしとしと静かに降る日曜日 又か、緑側に座り
苔庭を眺めています。ドウダンの花がきれいです。足元に
イカリソウ、ニリンソウも花盛り。

4月10日 桜の一番に満開となり 暑いくらいに
晴れ渡った一日。御柱の曳引きや勇ましい掛け声の
一声で夕時より始まりました。里人、7年に一度のこの祭
りを楽しみ、東京から近隣の市町村から来られた方が
多いといひ引きます。集まった人数で御柱は重くなり
ずかに進まない。威勢のいいラッパの音、甲高いサシ
の歌声、景気よくお酒を振る舞って気分は高揚のようです。



この御神木 本来は杉の木だそうですが、今年には杉だ
けです。1本目は正午にプレーンで立ちました。皆で引いた
御柱は夕方4:00 無事人力で立ちました。
(近くには、関係者はトキッとする場面があったそうです)

大西公園の桜は 12日には 散り 16日の桜祭りは 葉桜と
なっていました。その後、枝垂れ桜は 気温が下がった
こともあり長持ちしました。今日の雨でこちらも 終り
草のいよいよ 元気です。小鳥のさえずりを聞きながら、可愛ら
しいお花を見ながら 明日は 草取りに励みましょう。

長男 元 2児の父親として奮闘しています。今豊州市場
では 花ざんしょうが 10万から 20万しているそうです。
大鹿の山に入ると 今この時 美しい花ざんしょうが
結構あるそうで 毎朝 暗いうちに起きお登します。お客様
の朝食が始まるまで 木から葉と花を サルに切り分けてい
ます。花ざんしょう鍋をこの所望されるお客様をいまして 脂身
の多い牛肉と合うのだとか。アイスクリームを作ったり
ざんしょうオイルを作ったり。貴重品です。

だんだん老いふたツツなり。二人の老人完成となり仕事
と動きを 衰くちて来たから 戻ることは いっぱい。
正介は 私たちより元気の反子母のお相手て日夜
しっかり励んでいます。私は 老いたりの身体を維持する
のに必死で 魔サトレと 久美ヨガに へばりついてます。
若いうちは 何でも出来るといひ、確かに よく動けた
が、こうなる事は あまり聞かなかったような気がします。
年寄りには 弱音を 吐かないという美意識があるのでは
ないか？